

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>                  2 項目別評価                  (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p><b>【原文】</b>                  「○全学的な資源配分や新たな学部運営体制の確立等による新学部の設置                  社会・人文科学と農学・工学分野が融合した教育カリキュラムで県内全域をフィールドとする実践教育を行う「地域資源創成学部」の平成28年度の設置に当たり、全学から24名の教員定員を抛出するなど、人的資源の再配分を行うとともに、学部の運営上の重要事項を決定する「学部運営会議」の設置や、学外有識者が参画する外部評価委員会の設置、新規採用教員への年俸制の適用等、ガバナンス改革と一体となった改組を行っている。</p> <p><b>【申立内容】</b>                  【修正文案】のとおり、変更願いたい。</p> <p><b>【修正文案】</b>                  「○全学的な資源配分や新たな学部運営体制の確立等による新学部の設置                  社会・人文科学と農学・工学分野が融合した教育カリキュラムで県内全域をフィールドとする実践教育を行う「地域資源創成学部」の平成28年度の設置に当たり、<u>学長のリーダーシップの下、全学から24名の教員定員の抛出を行い、実務家教員8名を含む16名の教員を公募により新規雇用し、うち6名を40歳未満の若手教員とする</u>など、人的資源の再配分と多様な教員の登用を行うとともに、学部の</p>	<p><b>【対応】</b>                  意見を踏まえ、以下のとおり修正する。</p> <p>『○ 全学的な資源配分や新たな学部運営体制の確立等による新学部の設置                  社会・人文科学と農学・工学分野が融合した教育カリキュラムで県内全域をフィールドとする実践教育を行う「地域資源創成学部」の平成28年度の設置に当たり、<u>学長のリーダーシップの下、全学から24名の教員定員の抛出を行い、実務家教員8名を含む16名の教員を公募により新規雇用し、うち6名を40歳未満の若手教員とする</u>など、人的資源の再配分と多様な教員の登用を行うとともに、学部の運営上の重要事項を決定する「学部運営会議」の設置や、学外有識者が参画する外部評価委員会の設置、新規採用教員への年俸制の適用等、ガバナンス改革と一体となった改組を行っている。』</p> <p><b>【理由】</b>                  学長のリーダーシップの下、資源配分のみならず、実務家教員や若手教員等、多様な人材の登用を進めていることを明確にするため、記述を修正するもの。</p>

運営上の重要事項を決定する「学部運営会議」の設置や、学外有識者が参画する外部評価委員会の設置、新規採用教員への年俸制の適用等、ガバナンス改革と一体となった改組を行っている。

**【理由】**

「地域資源創成学部」の教育研究実施体制（平成28年度から教員24名体制）の整備では、本学教員の再配置を地域課題の解決のための教育研究といった新学部に必要な資質を有する者のみとし、16名の教員を学外から新規雇用して新しい教育内容や方法の実施を可能とするとともに、うち6名を40歳未満の若手教員とし、教育研究の活性化と持続的発展を図った。また、実社会で即戦力となる人材を育成する目的から、新規雇用教員のうち8名を民間企業や自治体等で豊富な実践経験を有する優秀な実務家教員とした。

学長のリーダーシップの下、限られた資源の中で多様な教員の登用を進め、異分野融合や地域課題の解決といった大学の強みや特色を伸長させたことを明確にするため、修正文案のとおり変更願いたい。